

キバナノアマナ		<i>Gagea lutea</i> (L.) Ker Gawl.	絶滅危惧Ⅱ類
			ユリ科
選定理由	生育する集団と個体が急速に減少している。		写真(加藤範夫) 
形態の特徴	根出葉は1枚で線形、長さ15-25cm、幅4-6mm。花茎は高さ15-20cm、先端に4-10個の花を散形につける。小花柄の長さは大きなばらつきがあり、短いものでは1cm、長いものでは5cmを超える。花被片は狭倒披針形、長さ約10mm、幅約3mm、黄色。		
生態的特徴	林縁や草地に生育する。花期は4-5月。		
分布状況	ヨーロッパと極東に分布し、日本では北海道から四国まである。岐阜県では県北の3地域、県南の西部と中部の3地域の、標高600m以下に見られる。		
減少要因	開発による生育地の破壊と山草愛好家による採取。		
保全対策	生育地の保全と採取の禁止。		
特記事項			
参考文献			

文責: 高橋弘